

2024年度 事業計画書

コロナ禍での生活も、ついに一定の終息を迎え、社会全体がゆっくりとコロナ前の活気を取り戻し、文化・芸術分野でも展示会や発表会等アーティストが活躍できる場が戻りつつあると感じられる1年であった。

当協会では、未来を担う人材の発掘・育成とともに、悠久の歴史・文化に根ざした関西・大阪の魅力やポテンシャルを発信し、活気あふれる関西・大阪の文化芸術の振興に貢献すべく事業活動にますます邁進していく。

万博記念基金事業では、70年万博の理念に基づく活動を支援する助成金交付事業及び日本文化を研究する外国人留学生を対象とした日本文化研究支援事業を拡大実施することで「人類の進歩と調和」へ貢献し続ける。

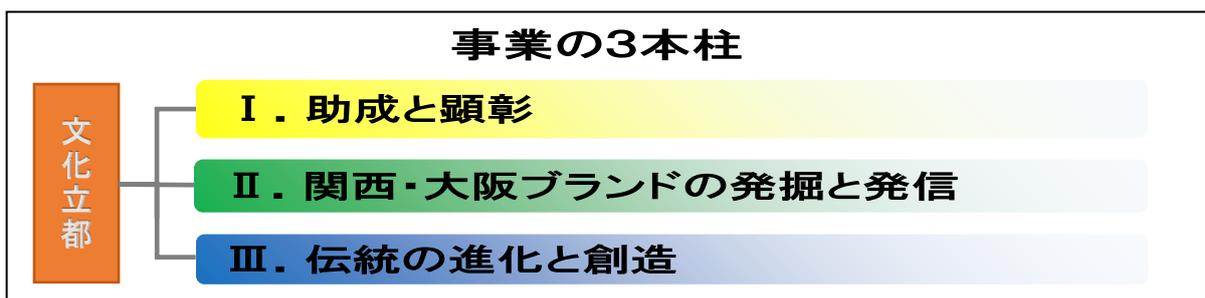
アーツサポート関西では、アーティスト支援を重要課題と位置付け、寄附型クラウドファンディング助成を引き続き実施するとともに、様々な寄附集めの手法を取り入れ、事業の安定財源の確保を目指す。

文化事業では、「Osaka Directory」を大阪中之島美術館とのコラボレーションにより開催し、若手アーティストの作品を非常に多くの方々にご覧いただいた。2024年度も引き続き若手アーティストの育成・支援に取り組みつつ、関西・大阪におけるアートシーンの活性化に貢献する。

また、アーティスト支援の一つとして今年度で4年目を迎える「アーティスト交流体験～文化芸術による次世代育成プログラム～」では、関西・大阪で活動するアーティストの紹介や、次世代の子供たちが文化・芸術に触れ合える機会を設け、これまで以上に実施プログラムの充実を図り、より一層人材育成に貢献する。

更に、多様な優れたアーティストの作品発表の場や機会の提供として、文化・芸術活動に積極的な団体・法人等にアーティストの作品を貸出する「art bridge」を本格稼働させることでアーティスト支援の強化を図る。

その他、上方文化芸能においては、「御田植神事」や「宝恵駕行列」等の上方伝統行事への支援を引き続き行う。



I. 助成と顕彰

1. 「日本万国博覧会記念基金（1970年万博）」事業（公益目的事業2）

「日本万国博覧会記念基金（1970年万博）」の運用益の一部をもって、1970年万博の成功を記念するにふさわしく、かつ国内外で実施される公益的な「国際相互理解の促進に資する活動」及び「文化的活動」に対して助成金を交付するとともに、日本文化を学ぶ外国人留学生を対象に日本文化研究支援事業を行い、「次世代人材育成」を通して日本文化の理解を促し、その根底に流れる調和的発展の精神を世界に広げて、人類の「調和ある発展」に貢献する。

あわせて、大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営のために寄附をする。

ア. 助成事業

A. 助成金交付対象分野

1970年万博の成功を記念するにふさわしく、かつ公益的な以下の活動を助成金交付対象とする。

《 国際相互理解の促進に資する活動 》

- ・国際交流に寄与する活動
- ・国際協力に寄与する活動
- ・教育に関する国際的な活動
- ・学術に関する国際的な活動

《 文化的活動 》

- ・日本の伝統文化の伝承及び振興活動
- ・芸術及び地域文化に関する活動

B. 2024年度助成事業

(1) 2024年度助成金交付事業

① 助成対象等

○ 複数年助成

- ・2年度で成果を挙げられる事業1件につき、2年間の助成総額1,500万円、且つ単年度の助成総額1,000万円を上限として数件程度を採択予定。但し、ふさわしい活動がない場合は「該当なし」とする。
- ・1970年万博の成功を記念するにふさわしく、かつ公益的で大きな助成の効果が期待できる活動を対象とする。
- ・各年度の実施状況と次年度の計画の報告を受け次年度の継続助成の可否について審査し決定する。

○ 単年度助成

- ・1事業につき助成金300万円を上限として数十件程度を採択する。

② 交付決定

- ・2023年度中に交付決定を行った助成金交付対象事業（55件1億1,330万円）に対し、各事業の完了後に報告書の提出を受け、助成金を交付する。

2024 年度助成金交付決定

(単位：件, 万円)

助 成	複数年度		単年度		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
国際文化交流、国際親善に寄与する活動	1	300	39	8,180	40	8,480
国際文化交流、国際親善に寄与する活動 (2023 年度継続)	1	500	—	—	1	500
教育、学術に関する国際的な活動	—	—	14	2,350	14	2,350
合 計	2	800	53	10,530	55	11,330

③ 実地調査及び事後評価

- ・国内で行われる助成金交付対象事業の実地調査を行う。
- ・助成対象事業者からの報告書と実地調査の結果を踏まえて事後評価を行う。

(2) 2024 年度日本文化研究支援事業 (外国人留学生対象奨学金給付事業)

① 奨学金給付対象等

- ・対 象 者 日本文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生を対象
- ・対象人数 8 名程度 (予定 8 大学、各大学 1~2 名)
- ・給 付 額 月額 10 万円、年額 120 万円 (1 名あたり)
- ・報 告 会 年 2 回程度実施

② 募集・審査等

- ・募集期間 2024 年 4~5 月
- ・審 査 2024 年 6 月中旬
- ・交付決定 2024 年 7 月上旬 (理事会で決定)

③ 継続給付

- ・対 象 者 2023 年度に奨学金給付を決定した奨学生
- ・対象人数 1 名/1 大学
- ・給 付 額 月額 10 万円、年額 120 万円
- ・報 告 会 年 2 回程度実施

C. 2023 年度助成金交付事業の繰越等

2023 年度に交付決定を行った助成金交付事業の内、年度内に事業を実施し助成金の交付が翌年度になるもの及びやむを得ず事業実施が翌年度になるものについて、2024 年度への助成金交付時期の繰越 (予定 14 件 3,305 万円) 等を行う。

D. 2025 年度助成事業の募集

(1) 2025 年度助成金交付事業

① 助成金交付対象分野

1970 年万博の成功を記念するにふさわしく、かつ公益的な以下の活動を助成金交付対象とする。

○ 国際相互理解の促進に資する活動

- ・国際交流に寄与する活動
- ・国際協力に寄与する活動
- ・教育に関する国際的な活動
- ・学術に関する国際的な活動

○ 文化的活動 (日本国内の活動であって国際性を伴わないもの)

- ・日本の伝統文化の伝承及び振興活動
- ・芸術及び地域文化に関する活動

- ② 募集事業 特別助成事業及び単年度助成事業
 - 特別助成事業
 - ・「2025年大阪・関西万博」の会場内や「2025年大阪・関西万博」の開催を契機として各都道府県内で実施される交流事業であって、大きな助成の効果が期待できる活動を対象とする。
 - ・1事業につき助成金1,500万円を上限として数件程度を採択予定。
(※ふさわしい活動がない場合は「該当なし」とする)
 - 単年度助成事業
 - ・1事業につき助成金500万円以内の範囲で上限額を設定し数十件程度を採択する。
- ③ 募集方法等
 - ・募集方法 ホームページへの掲載や関係先への募集要項送付
 - ・募集説明会 大阪・東京・ほか地方都市数カ所
 - ・募集時期 2024年7～9月
 - ・助成総額 1億8,000万円～2億円(国内外事業助成予定総額)
 - ・助成対象事業の選考 審査会の開催 2025年1～2月
 - ・助成金の交付決定 決定時期 2025年3月

〔日本万国博覧会記念基金助成事業審査会への諮問、同審査会の答申を受けて理事会で決定する。〕

(2) 2025年度日本文化研究支援事業(外国人留学生対象奨学金給付事業)

- ① 奨学金給付対象分野

1970年万博の理念を継承し、国際社会に貢献する「次世代人材育成」を通して、世界に日本文化の理解を促す「国際相互理解の促進に資する活動」を対象とする。
- ② 募集対象等
 - ・募集対象 日本文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生
 - ・対象大学 日本国内の奨学金の給付対象となる大学(予定8大学)
 - ・対象人数 8名程度(各大学1～2名)
 - ・給付額 月額10万円、年額120万円(1名あたり)
 - ・給付期間 修士課程修学期間(2025年4月～2027年3月)
 - ・募集方法 対象大学による公募やホームページへの掲載
 - ・募集時期 2025年3月下旬～5月
 - ・奨学金総額 1,000～2,000万円程度(継続給付含む)
 - ・奨学金対象の選考 対象大学内選考及び審査会の開催 2025年5～6月
 - ・奨学金の交付決定 決定時期 2025年7月頃(理事会で決定)
 - ・報告会 年2回程度実施

E. 助成事業の「見える化」への取り組み

助成金等贈呈式

- 国内(一部国外も含む)の助成金や奨学金による支援対象者を一堂に集め、贈呈式を開催する。併せて助成事業の事例発表等を開催する。
- 経済界やマスコミ、行政、関西の総領事、学識経験者(審査員)、理事、評議員など関係者に広く参加を呼び掛け、事業の「見える化」を促す。
 - ・開催日程 2024年7月頃
 - ・開催場所 大阪
 - ・参加者数 100名程度(関係者含む)

イ. 大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営に寄附する事業

大阪府が設置する日本万国博覧会記念公園の運営管理に寄附する。

【寄附金額】 1億2,600万円程度(万博記念基金の運用益の二分の一)

2. 「アートサポート関西」(ASK) 事業 (公益目的事業3)

芸術・文化は、人々の感性や創造性を涵養し、社会をより豊かにするものである。関西の優れた伝統芸能の継承や、新たな芸術的価値の創出を図るため、民間から広く支援を募り、助成金交付等の事業によって関西の芸術・文化活動を行う個人・団体を支援する。

また、社会に対し芸術・文化を支援する意義を広く周知し、支援の輪を広げていく機運の醸成を図る。

ア. 寄附を集める活動

ASKの活動は、民間からの寄附金を財源としており、この活動財源である寄附受入の持続可能な仕組みとして、サポーターズクラブをはじめ、購入代金の一部が寄附される「寄附型自販機」や買取代金が寄附される「モノ de 寄附」など多様な取り組みを行ってきている。

今後も引き続き、ASKの運営基盤を強化するため、従来から取り組んできた持続性のある寄附受入の手法を中心に、次の取り組みを行う。

- A. 「ASKサポーターズクラブ」による収入の維持・拡大
- B. 「ASK寄附型自販機」による収入の維持・拡大
- C. 「モノ de 寄附」による収入の維持・拡大
- D. 「カードポイント寄附」による収入の維持・拡大
- E. 「クラウドファンディング助成」における寄附集めの推進
- F. 芸術活動支援のための寄附集めキャンペーン「HEART AND ART」の推進
- G. WEBやQRコードを活用したオンラインによる寄附集めの推進
- H. その他、持続性のある新たな寄附の方法の検討・実施

イ. 助成事業

A. 2024年度 助成金交付事業の実施

(1) 一般公募助成

支援分野の指定がない寄附型自販機寄附などの寄附金を原資として公募で助成するもの。2024年度に行われる活動を対象に、2023年度に募集・審査して交付を決定。助成金交付後に活動を視察し、活動内容の確認・評価を行う。

2024年度一般公募助成金交付決定

(単位：件，万円)

	件数	金額
美術・デザイン	6	150
音楽	0	0
舞台芸術	3	100
伝統芸能	2	50
合計	11	300

(2) 個別寄金助成

寄附者が支援対象を指定したファンドを設け、ファンドごとに公募で助成するもの。2024年度に行われる活動を対象に、2023年度に募集・審査して交付を決定。助成金交付後に活動を視察し、活動内容の確認・評価を行う。

① 前年度からの継続事業

助成名	助成総額	助成分野	対象者
「寺田千代乃 上方落語 若手噺家支援寄金」助成 (10年目)	50万円	伝統芸能	公益財団法人 上方落語協会 ※助成先は10年間継続

② 公募済みの事業

助 成 名	助成総額	助成分野	対象者
「トヨタモビリティ新大阪 ASK 支援寄金」助成 (2年目)	300万円	関西で行われる 若手演奏家による クラシック音楽活動	関西を拠点に活動する若手 クラシック音楽家個人
「八千代電設工業伝統芸能 支援寄金」助成 (8年目)	50万円	能楽における青 少年を対象にし た教育普及活動	関西広域において左記の活 動を行う団体
「インターグループ上町台地 現代アート寄金」助成 (1年目)	50万円	上町台地におけ る寺社と現代ア ートとの融合を 図る活動	関西広域において左記の活 動を行う個人・団体
「未来アート寄金」助成 (3年目)	90万円	現代美術および コンテンポラリ ーダンス	関西広域において左記の活 動を行う個人

(3) クラウドファンディング助成

公募で選ばれた助成対象事業をクラウド上に公表し、当該事業を支援するための寄附集めを行い、集まった寄附を助成金として交付する。

① 公募済みの事業 ※2023年度の公募で採択

(単位：件, 万円)

	件 数	助成希望金額
美術・デザイン	0	0
音 楽	3	430
舞 台 芸 術	2	412
伝 統 芸 能	0	0
合 計	5	842

② 2024年度中に公募し助成金を交付する事業

助成総額	助成分野	対象者	募集期間	募集方法
集まった寄附 を助成金とし て交付	美術・デザイン、 音楽、舞台芸術、 伝統芸能	関西を拠点に 活動する団体	2024年7月 助成金交付は2024年 10月～2025年3月	協会ホームページ への掲載、関係先 へのメール等によ る案内など

B. 2025年度助成事業の募集

(1) 一般公募助成

助成総額	助成分野	対象者	募集期間	募集方法
300万円 ～500万円	美術・デザイン、 音楽、舞台芸術、 伝統芸能	関西を拠点に活 動する個人・団体 (個人優先採択)	2024年12月 ～2025年1月	協会ホームページ への掲載、関係先 へのメール等によ る案内など

※寄附の受入状況によって助成総額を設定する。

(2) 個別寄金助成

助成名	助成総額	助成分野	募集期間 募集方法
「トヨタモビリティ新大阪 ASK 支援寄金」助成 (3年目)	300万円	関西で行われる若手演奏家によるクラシック音楽活動	2024年12月 ～2025年1月 WEBへの掲載等による
「八千代電設工業伝統芸能支援寄金」助成 (9年目)	50万円	関西で行われる能楽における青少年を対象にした教育普及活動	
「インターグループ上町台地現代アート寄金」助成 (2年目)	50万円	上町台地における寺社と現代アートとの融合を図る活動	
「未来アート寄金」助成 (4年目)	90万円	現代美術およびコンテンポラリーダンス	

※追加寄附を受け入れた場合は助成総額に上乘せする。

(3) クラウドファンディングによる助成事業の募集

助成総額	助成分野	対象者	募集期間	募集方法
集まった寄附を助成金として交付	美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能	関西を拠点に活動する団体	2024年12月～ 2025年1月	協会ホームページへの掲載、関係先へのメール等による案内など

C. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や、外部有識者によって構成される評価・審査委員会において選考を行い、運営委員会で確認、理事会で決定する。

- ・評価・審査委員会 2025年1～2月（1次～2次）
- ・運営委員会 2025年2～3月上旬
- ・助成金交付決定 2025年3月（理事会：3月）

なお、2024年度中に公募を行う助成事業については、募集・選考日程に合わせ評価・審査委員会及び運営委員会を開催し、理事会で決定する。

D. 2024年度中の分野指定型寄附金の受入れ及び助成対象者の公募等の実施

2024年度中に分野指定型寄附（クラウドファンディングへの寄附を含む）の申込があるときは、当該寄附金の受入れに係る理事会の承認、又は報告の手続きにより受入れを行う。

なお、寄附金の受入れ後、寄附者の意向により2024年度中に助成対象者の公募及び審査・選考を実施する必要がある場合、当該求めに応じ公募等を実施する。

- ・寄附受入期間 通年
- ・公募期間 1か月程度
- ・審査選考 公募期間終了後、1か月～2か月の間
- ・対象者決定 審査選考後理事会にて決定

※公募期間、審査選考及び対象者決定時期は、原則として一般公募助成の取扱いに準じる。

ウ. 芸術・文化への支援に関する社会的機運の醸成を図る取り組み

芸術、文化の活動を支援（寄附）することの意義について、これまでのASK支援者（寄附者）をはじめ、広く一般市民や企業にASKへの関心を持っていただき、積極的に支援（寄附）するという文化の社会的機運を醸成する取り組みとして、成果報告会の実施、企業等が行う芸術文化振興活動への協力、メディアと連携した情報発信などを行う。

- ・成果報告会開催日程 2024年6～9月（予定）

3. 人材育成（アーティスト支援）

ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業1）

大阪の文化芸術活動の奨励及び普及を図り、文化振興の機運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、優れた成果をあげた個人または団体に賞（表彰状・表彰楯・副賞）を贈呈する。

- ・主 催 大阪府、大阪市、（公財）関西・大阪21世紀協会
- ・贈呈式 2025年3月（予定）

イ. アーティスト交流体験～文化芸術による次世代育成プログラム～（公益目的事業1）

新進の現代アートの人材を育成し、文化芸術のすそ野を広げることにより、関西・大阪の文化芸術の活性化に貢献することを目的に、関西・大阪のアーティストの活動紹介と子どもたちを対象とした文化芸術体験の場を提供するプログラムを実施する。

- ・主 催 （公財）関西・大阪21世紀協会
- ・実施校数 5校程度
- ・実施校募集 公募
- ・実施時期 2024年6～12月頃（1校につき3回程度実施）

※本事業実施に際して年度毎に評価を行うため外部から評価委員を招聘。

※他団体の助成制度や公募による受託業務の活用により、実施エリア・実施校数の拡大を目指す。

ウ. 文化活動機会の架け橋事業の実施（公益目的事業1）

当協会が結節点機能の役割を果たし、関西・大阪で活動する優れたアーティストを文化芸術活動の誘致（実施）を希望する団体等に紹介し、文化活動の活性化を図る取り組みを実施する。

- ・実施時期 通年
- ・場 所 大阪市内ほか

エ. 「art bridge—もっと身近にインクルーシブアートを」プロジェクト（公益目的事業1）

障がいのある方を中心とする、多様な背景を持つアーティストの力のあるアート作品を貸し出し、その多様な感性に身近に触れ鑑賞する機会を広く提供し紹介することにより、人間の多様性の尊重と、生み出されるアート作品に対する理解の促進を図るとともに、才能あるアーティストの支援と関西・大阪における文化振興につなげていく。

また、プロジェクトでの紹介を通じて、障がいのある方等の自立支援などにも繋がっていく。

- ・事業主体 （公財）関西・大阪21世紀協会
- ・運営主体 オフィス・エヌ
- ・実施時期 通年

オ. ソリスト育成支援（公益目的事業1）

将来性のある関西ゆかりの若手演奏家に、関西を代表するオーケストラである関西フィルハーモニー管弦楽団と協演する機会を提供。ソリストたちの更なる成長を促すとともに、優れた才能を発掘し、世に送り出す役割を果たす。2025年8月に「住友生命いずみホール」で開催予定の「Meet the Classic」での協演を目指し、2024年度は公募によるオーディションを実施。より多くの才能ある若手演奏家の挑戦の機会とする。

- ・主 催 （公財）関西・大阪21世紀協会
- ・共 催 （公財）関西フィルハーモニー管弦楽団
- ・実施時期 2024年4月～公募、6～8月選考・オーディション
2025年8月 「Meet the Classic」で協演予定

カ. 上方落語若手噺家グランプリチャンピオン大会【仮称】（公益目的事業1）

2014年より開催されてきた「上方若手噺家グランプリ」が10年の節目を迎えるにあたり、上方落語協会が実施する歴代のチャンピオンが一堂に会し話芸を競うグランドチャンピオン大会を実施する。

- ・実施時期 2025年1月～3月（予定）
- ・主催 (公社) 上方落語協会、(公財) 関西・大阪21世紀協会

II. 関西・大阪ブランドの発掘と発信

1. 講座・セミナーの開催

ア. 第5回関西北前船研究交流セミナー（公益目的事業1）

関西の食文化の発展に大きな影響を及ぼした、北前船寄港地で日本遺産に認定されている関西地区11市町と連携してセミナーを開催。北前船の船主や商いを営む人々の関わりなど、当時の歴史と現在に触れ、関西の食文化をはじめとする関西ブランドの情報発信を行う。

- ・主催 関西北前船研究交流セミナー実行委員会
(大阪市、神戸市、宮津市、小浜市、洲本市、赤穂市、高砂市、新温泉町、姫路市、たつの市、泉佐野市、(公財) 関西・大阪21世紀協会(事務局)、他企業)
- ・実施時期 2024年秋頃
- ・場所 京都府宮津市

イ. 室内楽マスタークラスの実施（公益目的事業1）

関西では数少ないプロフェッショナルな室内楽を専門的に学べる「今福音楽堂」と連携し、プロとして歩み始めた若手演奏家の成長とレベルアップを後押しする。国内外で活躍するトップクラスの音楽家と若手演奏家が共演する室内楽コンサートの開催により、関西の音楽文化の向上に寄与する。

- ・主催 (一社) Reise
- ・共催 (公財) 関西・大阪21世紀協会
- ・実施時期 2025年3月（予定）

2. 関西ブランドの発信

ア. 2025年万博開催の機運醸成と関西ブランドの情報発信（公益目的事業1）

国立民族学博物館において、1970年と2025年の万博、そして両万博とその後の未来をテーマに、2025年まで毎年シンポジウムが開催される。

万博の大阪開催は、関西・大阪の歴史や文化など、地域社会に大きな影響を与えてきた。

1970年万博のレガシーを引き継ぐ当協会は、シンポジウムへの協力体制を構築し、2025年の万博開催年までの間、同博覧会開催の機運醸成と万博を通じた関西・大阪の歴史や文化など関西ブランドの情報発信を行っていく。

【2024年度実施予定】

- ・主催 (公財) 千里文化財団
- ・協力 (公財) 関西・大阪21世紀協会
- ・実施時期 2024年11月頃
- ・場所 国立民族学博物館

イ。「KANSAI*OSAKA 文化力」の発行（公益目的事業1）

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信する広報誌を発行する。

賛助会員をはじめ、公立図書館や大学、高校、公的機関、マスコミ等へ広く配布（約1万部）する。

・発行回数 年2回（2024年9月・2025年3月予定）

ウ。ホームページ、SNSによる発信等（公益目的事業1）

大阪のさまざまな伝統行事や当協会が主催・後援等をする文化芸術活動の最新ニュースをタイムリーに発信する。また、マスコミ関係者とのリレーションを強化するなど様々な媒体による広報展開を図る。

・実施期間 通年

エ。書籍「なにわ大坂をつくった100人」の頒布（その他事業1）

古代から近世にかけて「なにわ大坂」で活躍した100人を選び、当協会HP上で紹介していたものを、2017年度から2019年度にかけて出版社との協力により書籍化して発行しており、関西・大阪の文化力向上、イメージ向上に資するため引き続き事業を継続する。

・実施期間 通年

オ。御堂筋でのバナー展開（収益事業）

当協会が保有する御堂筋や長堀通りの街路灯のバナー取付具を活用し、都市のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、景観の向上を図る。

・実施期間 通年

3. ネットワークと理解促進

ア。後援・協力（その他事業1）

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状の授与等）を行い、ホームページで広く活動を紹介する。

・実施期間 通年

イ。協会活動への理解促進（その他事業2）

賛助会員との交流会を行い、事業のPRや協会活動への理解を深める。

・実施時期 2024年秋頃【予定】

III. 伝統の進化と創造

1. コラボレーションによるまちづくり

ア。大阪・関西万博に向けた歴史・文化の紹介【日本博事業フォローアップ】（公益目的事業1）

2020年度に制作した「古代首都なにわ八十島祭」のコンテンツ有効活用のため、当協会関連催事やWEBサイト等において関西・大阪の歴史・文化の紹介を行うことを主眼に、「2025年大阪・関西万博」に向けた幅広い視点での取り組みを推進する。

・実施期間 通年

・関連催事 常設博物館でのイベントなど（共催、協力として参画）

イ. 広域連携支援（公益目的事業1）

A. 「北前船寄港地フォーラム」の支援

北前船寄港地およびその周辺地域の連携による地方創生への貢献を目的に「（一社）北前船交流拡大機構」が開催する「北前船寄港地フォーラム」を、関西の視点から支援する。

- ・実施時期 2024年6月
- ・場 所 北海道釧路市

B. 「大阪・関西万博」への参画

2025年に開催される大阪・関西万博において（一社）大阪外食産業協会がORA 外食パビリオンを出展するにあたり、運営主体となる食博覧会実行委員会に参画し「関西・大阪の食文化」を世界に発信することを目的に以下の取り組みを推進する。

（1）パビリオンデー催事の企画立案

「関西・大阪の食文化」を世界に発信することを目的に、万博会場内イベント（パビリオンデー）の企画立案・調整を主体的に推進する。

- ・実施期間 通年

（2）ORA 外食パビリオン内展示・販売者誘致活動の実施

当協会が結節点機能の役割を担い、パビリオン内展示・販売者の誘致活動を実施する。

- ・実施期間 通年

〈参考〉大阪・関西万博

- 会 期 - 2025年4月13日～10月13日
- 会 場 - 夢洲
- テーマ - いのち輝く未来社会のデザイン
- 想定入場者数 - 約2,820万人

〈参考〉ORA 外食パビリオン

- 主 催 - （一社）大阪外食産業協会、食博覧会実行委員会
- 館 名 称 - ORA 外食パビリオン「宴～UTAGE～」
- テーマ - 新・天下の台所 ～食博覧会・大阪2025～
- 施設構成 - 1階：営業ブース出展社企画、2階：体験プログラム
- 入場予定数 - 約100万人

ウ. 大阪中之島美術館共同プロジェクト「Osaka Directory」（公益目的事業1）

大阪を中心とする関西で活躍する若手アーティストに作品発表の機会を提供。全国そして全世界に羽ばたくきっかけを作ることを目的に、将来の活躍が期待される若手作家を紹介する小企画展を実施する。

- ・共 催 （公財）関西・大阪21世紀協会、大阪中之島美術館
- ・実施時期 2024年11月下旬～（予定）
- ・内 容 1企画/アーティスト1名/約1か月 （2～3名程度）

エ. 大阪・関西万博に向けた文化発信イベント「KANSAI 感祭」

2025 年大阪・関西万博を関西文化の魅力を国内外に発信する絶好の機会と捉え、大阪・関西万博の機運醸成を図るとともに、関西の文化力の向上や地域活性化、経済成長につなげることを目的に、大阪・関西万博開催の前年となる 2024 年にオール関西で文化発信イベント「KANSAI 感祭」を開催する。

- ・主 催 「KANSAI 感祭」実行委員会
〔 関西広域連合、(公社) 関西経済連合会
(公財) 関西・大阪 21 世紀協会 〕
- ・実施時期 2024 年 7 月～11 月
- ・場 所 大阪、京都、兵庫ほか関西一円

2. 上方文化芸能の振興と無形文化財の保護・育成

ア. 上方文化芸能振興事業

上方文化芸能の振興として、公演活動のほか当協会ホームページや広報誌「KANSAI*OSAKA 文化力」に掲載し、情報発信を行う。

○ 公演活動「ワンコイン文楽」

大阪発祥である人形浄瑠璃文楽の伝統を、若い世代に受け継いでいくことを目的に、関西在住・在勤の 15 歳から 35 歳までの若者 500 人を対象に 500 円で文楽が鑑賞できる取り組みを実施する。

- ・主 催 (公財) 関西・大阪 21 世紀協会、(公財) 文楽協会
- ・実施時期 2024 年 11 月、2025 年 1 月 (予定)

イ. 無形文化財の保護・育成

- A. 今宮戎神社 宝恵駕行事[無形民俗文化財] (2025 年 1 月 10 日) 協賛
- B. 住吉大社 御田植神事[重要無形民俗文化財] (2024 年 6 月 14 日) 協賛